

第 108 回 全国書道コンクール出品要項

左記のとおり硬筆コンクール作品を募集します。奮ってご応募下さい。

一、中学生・小学生・幼年

●課題Ⅱ次ページ掲出課題

●用紙Ⅱ本会選定用紙

○幼・小一年……………四行用紙

○小二年以上……………五行用紙

●用具Ⅱ幼年から小三まではえんぴつ

小四以上は、つけペン、デスクペン、ボールペンのいずれかを使用。

一、出品料（一点につき）

会 友 六三〇円

中学・幼年 五三〇円

一、出品締切り

令和七年七月二十三日（水）必着のこと

一、送り先

509―5134 土岐市泉島田町一―三〇

大書心会全国書道コンクール係

一、審査

期 日 七月三十日（水）

午前九時半から

会 場 セラトピア土岐

三階第一～二会議室

一、審査員

認定審査員・及び八十点以上出品の団体責任者に委嘱。

一、褒 賞

記念大賞・大賞・準大賞・会友特選（以上

会友作品を対象とする）・記念賞・会長賞

※土岐市長賞※同教育長賞※同市議会議

長賞※中日新聞社賞・大書心会賞・理事長

賞・師範会賞・理事奨励賞・特選・奨励賞・

俊英賞・優秀・秀作・入選・佳作

（※印は申請中）

○全員に賞状、賞品を授与します。

○成績優秀な団体には、団体賞を授与します。

一、団体出品

5点以上まとめて出品の場合は団体扱いとなります。特典もあり、その他出品目録

が必要となりますから大書心会事務局までお申込み下さい。

▽支局・支部には、予め出品目録及び明細

表を六月号送本時に同送いたしました。

一、成績発表

本誌十月号誌上。（各団体宛にも通知いたします）

※作品展及び授賞式はございません。

一、会長賞受賞者の特典

●六段以下の受賞者は一階級昇格を認めます。

●現在小五年生以上で、幼年から通算して三回受賞した場合は会友を認定します。※いずれも八月から昇格します。

一、特別昇級の特典

硬筆部1級以下の出品者は、全員一階級特進を認めます。（申請者のみ）

一、その他

○一人何点でも出品できますが、特別賞受賞は一人一点とします。

○出品料は為替か小為替にして作品と同封し書留で送るか、現金書留による送金に限ります。（振替、その他は不可）

○作品は月例競書と同封してもよろしいが必ず混同しないよう、明確に区別して下さい。

▼原寸大手本（コピー）

一枚……五〇円（送料実費）

▼選定用紙（四行・五行用紙とも）

一冊……一〇〇円（送料実費）

※ご注文の節は、「四行」または「五行」とはっきりご指定下さい。



第 108 回コンクール課題 (テーマ=読書)

幼年 (えんぴつ)

な	も	し	こ
か	り	ち	び
	の	に	と
		ん	

小一年 (えんぴつ)

か	じ	よ	え
あ	ょ	む	本
さ	う	の	を
ん	ず	が	
	ね		

小二年 (えんぴつ)

お	王	シ	心	は
ど	子	ン	の	た
り	さ	デ	やさ	ら
ま	ま	レ	しい	き
す	と	ラ		も
				の
				で

小三年 (えんぴつ)

う	ゆ	歩	一	ゴ
さ	だ	いた	生	ール
ぎ	ん	た	けん	まで
に	し	カ	命	
勝	て	メ		
った	いた	さん		
た				
よ				

小四年 (ペン)

人	願	ピ	お	勇
間	い	ノ	父	気
に	が	キ	さん	を
な	か	オ	を	出
り	な	は	救	し
ま	い		った	て
し				
た				

小五年 (ペン)

楽	こ	考	主	い
し	れ	え	人	つ
さ	こ	行	公	の
で	そ	動	と	間
す	読	し	い	に
	書	て	っ	か
	の	い	し	
		る	ょ	
			に	

小六年 (ペン)

学	ビ	「	人	貴
校	ク	あ	を	さ
の	ト	あ	信	を
図	ル	無	じ	感
書	リ	情	る	じ
室	ユ	」	こ	た
で	ゴ	を	の	
	ー	読		
	の	み		

中一年 楷書 (ペン)

自	貧	最	王	感
分	しい	後	子	動
を	人の	ま	と	の
犠	ため	で	つ	涙
牲	に	つ	ば	が
に		く	め	あ
し		し	の	ふ
て		た	物	れ
			語	た

中二・三年 行書 (ペン)

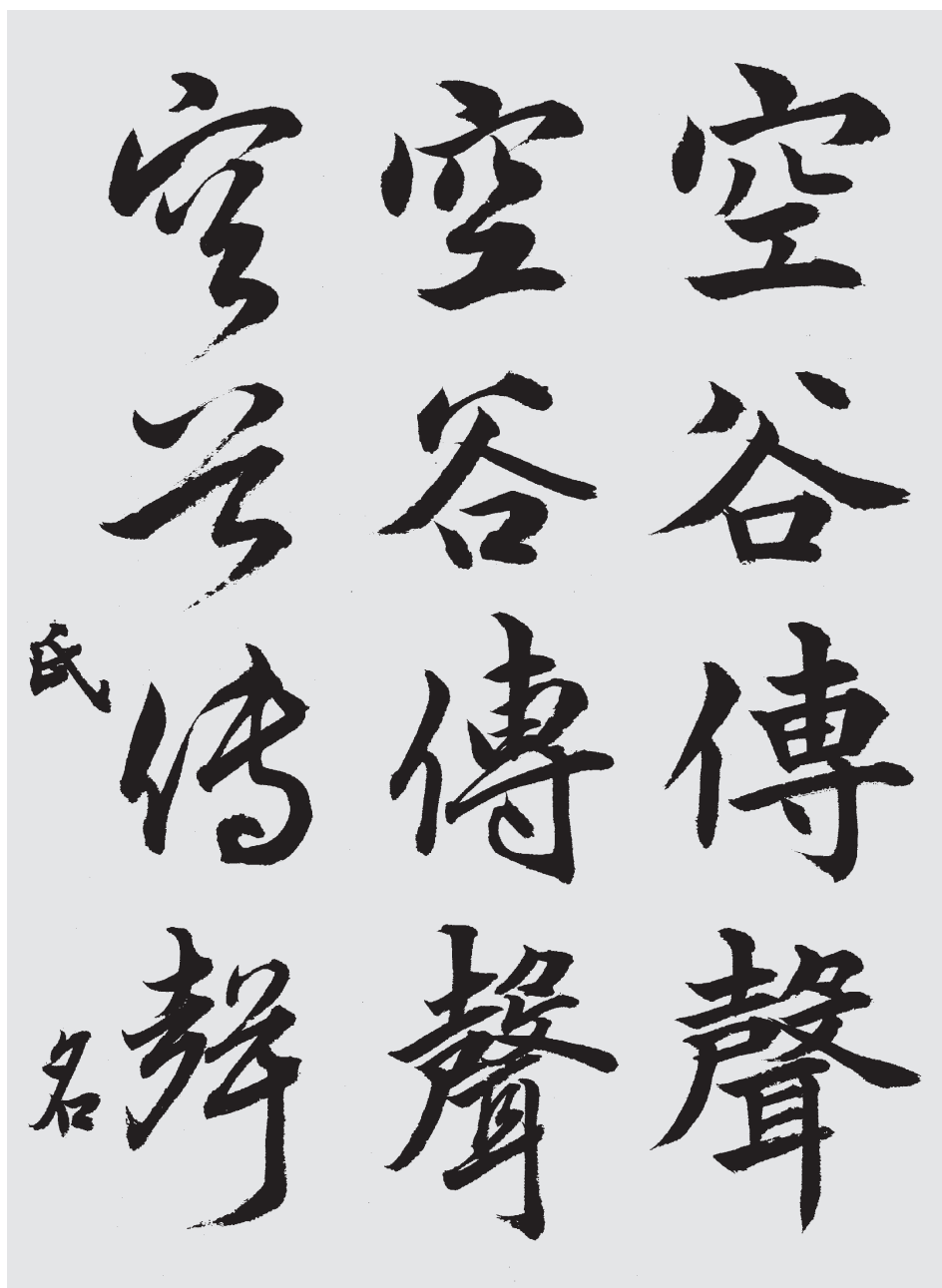
自	貧	最	王	感
分	しい	後	子	動
を	人の	ま	と	の
犠	ため	で	つ	涙
牲	に	つ	ば	が
に		く	め	あ
し		し	の	ふ
て		た	物	れ
			語	た

※「ペン」は、つけペン、デスクペン、ボールペンのいずれかを使用。

※幼年から小三までは上一段あけて書いて下さい。句読点は省略します。

三体千字文を書く (55)

締切り 七月二十三日 (必着)



回作品の出し方

▼硬筆部ⅡB5判(二五七mm×一八二mm)以下の紙に書いて下さい。用具は自由です。(黒色に限る)

▼毛筆部Ⅱ半紙に書いて下さい。(筆ペン可)

▼出品制限の対象とはしませんが、出品は硬毛のどちらか一方に限ります。

▼事務処理上、支部略称・氏名・会員番号・硬筆規定の成績(毛筆の場合は毛筆漢字の成績)を、作品余白にお書き下さい。

▼優秀作品は、写真版として成績表の後ろに掲載しますが、成績表での順位発表はしません。

奥村憲昭先生書

◆硬筆の専門誌だった大書心に一般毛筆部が設立されたのは、昭和五十六(一九八一)年四月のことです。

◆「三体千字文」課題からスタートし、憲昭先生の穩健中正で気品のある手本が好評を博しました。

◆短期特別課題として、平成二十四年一月から二年間と平成二十八年の一年間学びましたが、今回はその続きです。原点に返って、基本用筆と正しい崩し方をしっかり学びましょう。

〔千字文〕

四言古詩二五〇句、重複しない千字からなっており、聖徳・修養・修身・齊家等について述べられた習字手本であり、初学者の教科書でもあった。

梁の武帝(在位五〇二―五四九)の命を受け、周興嗣が王羲之の筆跡からまとめたといわれる。

〔解説〕

空谷傳聲

虚堂習聴

人気ない谷間で声を発すれば、こたまとなつて声を伝える。

人のいない家にも耳がある。独りを慎むべきである。

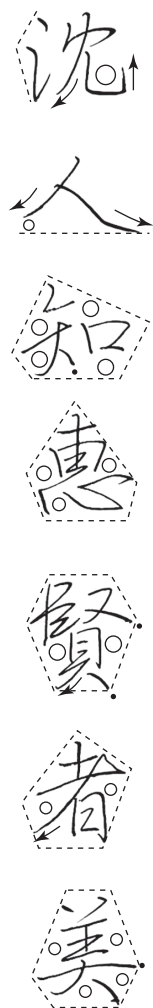
一般部規定課題

締切り 7月23日(必着)

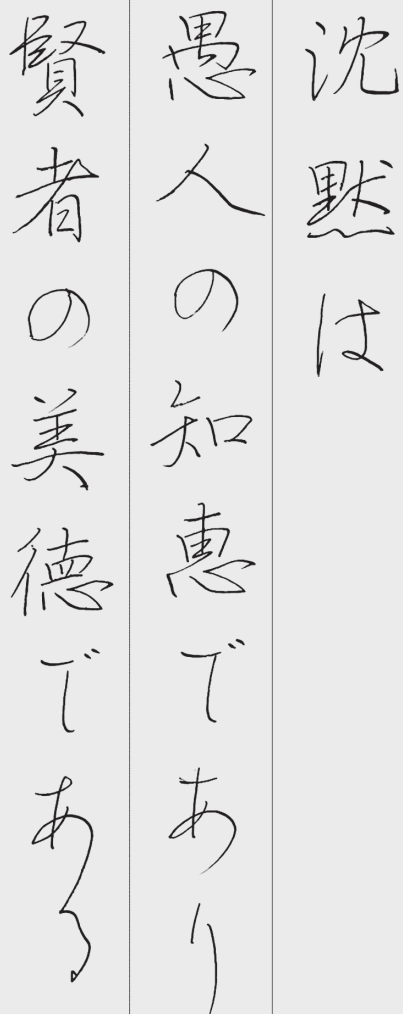
準初段から六段まで

新入から1級まで

〔解説〕



▶教範・書範は右課題を「楷書」で、師範は「行草または草書」で出書して下さい。

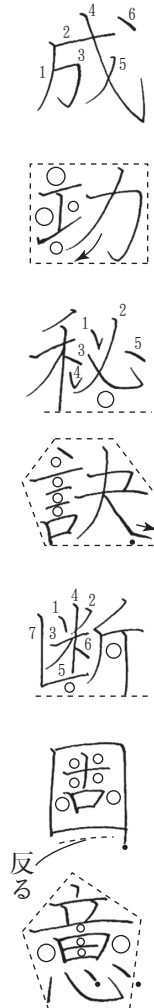


お 郷 翠 光 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

〔解説〕



ふる た ずい えん 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

- ◆8月課題予告(行草または草書)
博愛を
実践するには
最大の勇気が必要
- ▼教範・書範Ⅱ行書
- ▼師範Ⅱ楷書

★沈黙は…(書体Ⅱ行書)
ボナール(一七五四〜一八四〇)
フランスの政治家・思想家
巧妙な会話のできない愚かな人でも、黙っていれば本当に会話ができないのかどうかわかりません。つまり、沈黙は一つの知恵ということになります。
逆に、巧みに話せる賢い人が沈黙を守るという行動は、自分の能力を見せびらかさないわけであり、それは謙譲の美德といってよい、とボナールは言っています。

- ◆8月課題予告(行書)
これが私の古里だ
さやかに風も
吹いている

★成功の…(書体Ⅱ楷書)
ディズレーリ(一八〇四〜一八八二)
イギリスの政治家
彼は保守党指導者として一八六七年第二次選挙法改正を実現し、一八六八年に首相になり八年後に再び首相になりました。スエズ運河の買収、インド帝国の実現、ベルリン会議でのキプロス島獲得などと、次々と成功を成し遂げてきました。イギリス・ビクトリア朝の帝国主義的外交を推進し、イギリス帝国を隆盛に導いた彼の言葉は、納得させられます。

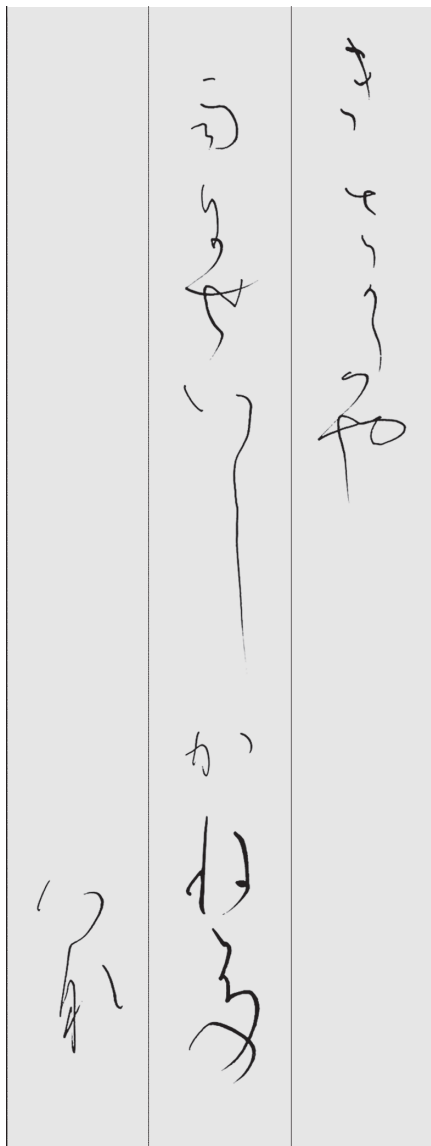
一般部かな課題

締切り 7月23日(必着)

準初段から六段まで

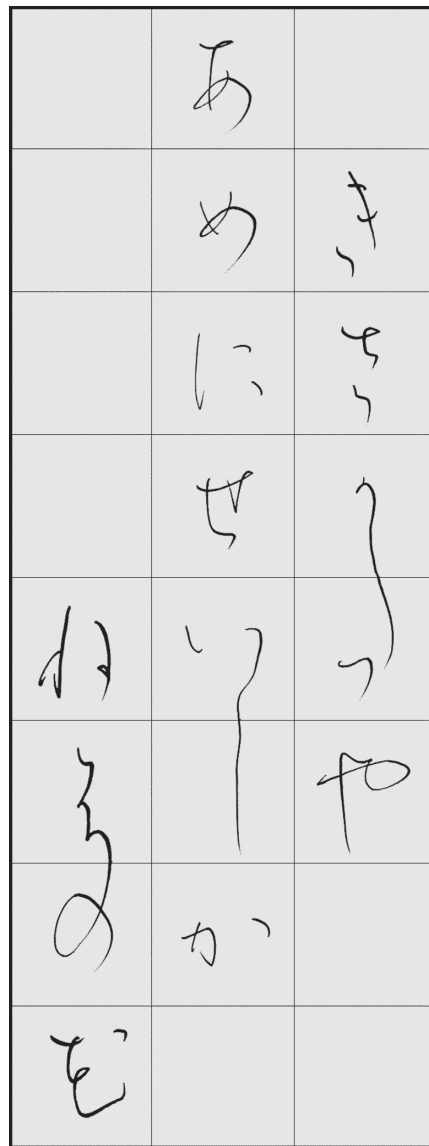
新入から1級まで

象潟きさや雨あめに西施せいしがねぶなの花はな



象潟きさや雨あめに西施せいしがねぶなの花はな

■両課題とも、文字の変換・配字は自由です。



石垣秀華書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

石垣秀華書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

◆8月課題予告

石の香かや夏草なつぐさ赤く露暑つゆし

多た 尔に 那な
 多た 尔に 那な
 多た 尔に 那な
 多た 尔に 那な

〔古筆参考〕

の句の始めて加えた。

いている。

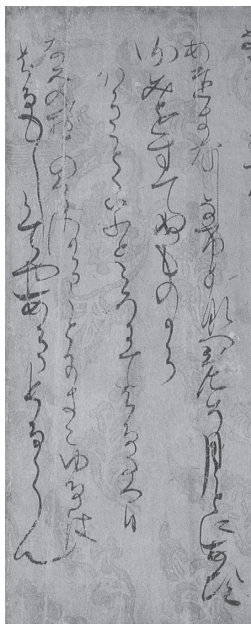
〔大意〕雨中の象潟では、あたかも西施がなやましげに眼をほそめて眠っているように、合歓の花が雨にぬれて咲いている。

〔出典〕奥の細道。元禄二年。
 〔作者〕松尾芭蕉。正保元年(一六四四)〜元禄七年(一六九四)俳人。名は宗房、別号は桃青・風羅坊。

象潟きさや雨あめに西施せいしがねぶなの花はな
 (芭蕉句集より)

〔古筆参考〕

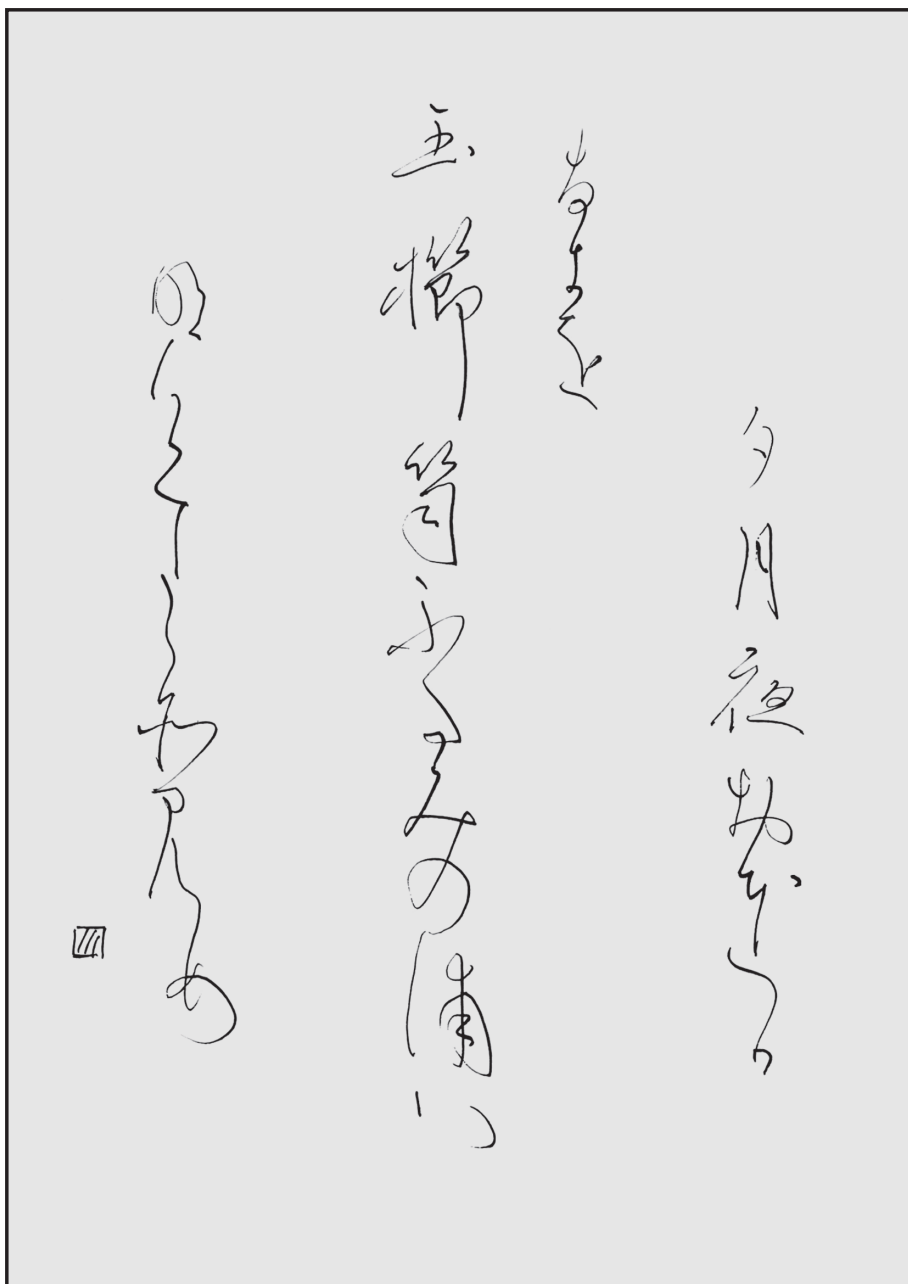
ほん あ み ぎれ
本阿弥切



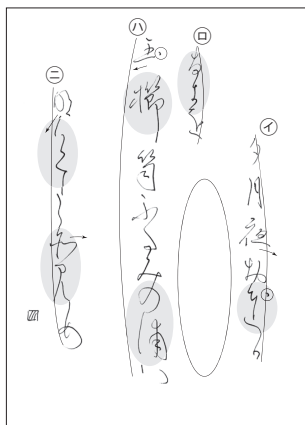
あぢきなしなげきなつめそ月ごとにあひく
るみを(は)すてぬものから
からことゝいふところにてはるたつ日
なみのおとのけさからことにきこゆるは
はるもしらでやあらたまらん

締切り 七月二十三日(必着)

築瀬舟香書



〔解説〕



〔解説〕

(新潮日本古典集成)

〔出典〕 古今和歌集

〔歌意〕 夕方の月が出て、あたりはぼんやりと暗くなってきた。美しい櫛笥の箱は、ふたとみを開けてみるといのちにちなんで、有名なふたみの浦も、夜が明けてから見物することしよう。

夕月夜おぼつかなきを玉櫛笥
ふたみの浦はあけてこそ見め

◆8月課題予告

一年にひとたび来ます君待てば
宿かす人もあらじとぞ思ふ

締切り 7月23日(必着)

窓辺に吹き来る微かな風に風鈴が
快い音を響かせています。さて、
ペン字展の作品づくりを始めよう
と思います。構成に苦慮して
います。近日中にお伺いしますので
ご助言いただければ幸甚です。

作品の出し方

- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。成績は評価により毎月変わります。
- 用紙Ⅱはがき課題ははがき用紙、横書き課題は一般部段位用紙を横に使用。
- 用具Ⅱはがき、横書き課題ともに自由。
(黒色に限る)
- 両課題とも、書体変換は自由です。

※手本は水性ボールペン使用

窓辺に吹き来る微かな風に風鈴が
快い音を響かせています。さて、
ペン字展の作品づくりを始めよう
と思います。構成に苦慮して
います。近日中にお伺いしますので
ご助言いただければ幸甚です。

横 書 き 課 題

おか じま けい せん 書
岡 嶋 桂 川

扇風機は、明治30年の国民新聞で
「電気扇子」と初めて紹介された。

新潟県三条市 氏 名

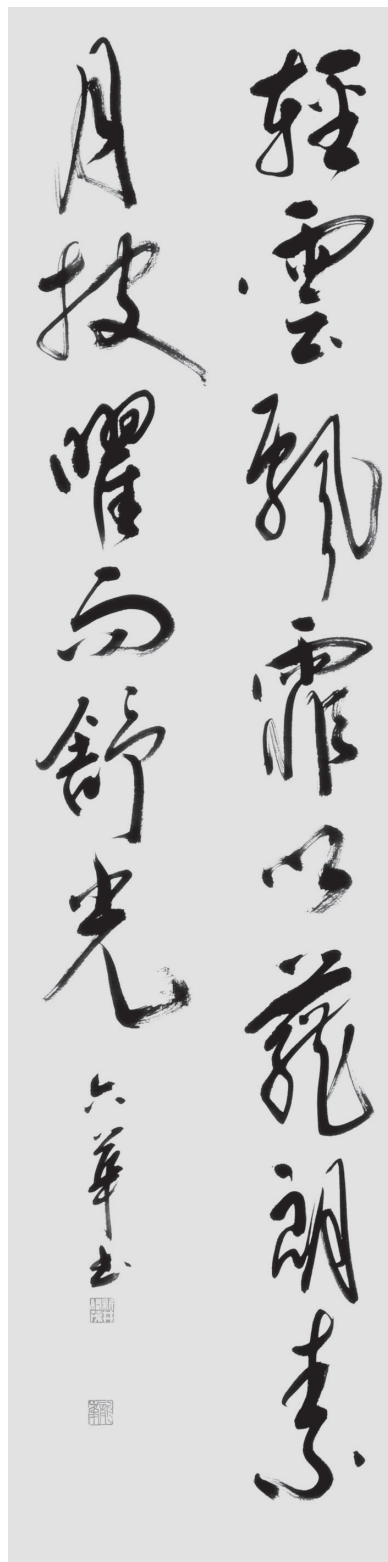
※手本はつけペン使用。 ★三行目は、指定の地名と氏名を書いて下さい。

一般部毛筆細字課題

一般部毛筆条幅課題

締切り 七月二十三日（必着） 半切（一二六cm×三五cm）

新井龍峰書



輕雲飄霏以籠朗

素月披曜而舒光

蘇彦・晋

〔大意〕軽く浮かんだ雲は漂って空をこめ、明月はさえ光輝を放っている。
初出品の方へ
支部名・会員番号・姓名・毛筆漢字成績を、作品左下に必ずお書き下さい。

夕立ちのあとの涼風が心地よい
今日の頃です 夜空に響き渡る
花火の音にふと懐かしく童心に
かえったりなどしてあります
三浦幸子

書 香 梅 藤 伊

半紙（334mm×240mm）

〔条幅解説〕

作品を書き終えた後、すぐに筆・硯を洗う癖に身に付いたものです。すぐに洗えば、そんなに手間もかからずに楽に手入れができるからです。しかし、翌日以降になると筆は墨で固まり、硯の面も墨で埋まってしまします。早めに手入れをすれば、筆も傷めずに長く使え、硯の面も墨で埋まらず墨も染にすることができるよう。

夕立ちのあとの涼風が心地よい
今日この頃です 夜空に響き渡る
花火の音にふと懐かしく童心に
かえったりなどしております

（ご自分の氏名）

・印で墨つきしました。

〔条幅・細字作品の出し方〕

- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。
- 成績（天位～5等）は、評価により毎月かわります。
- 書体変換、変体仮名の交換は自由です。

新入から1級まで(楷書)

江山滿花柳

江山滿花柳

〔大意〕河や山へ春が訪れて、花と柳が一杯に満ち満ちているさまを表した漢詩。

清水翠芳書

〔解説〕

江山滿花柳

◆8月課題予告(行書)

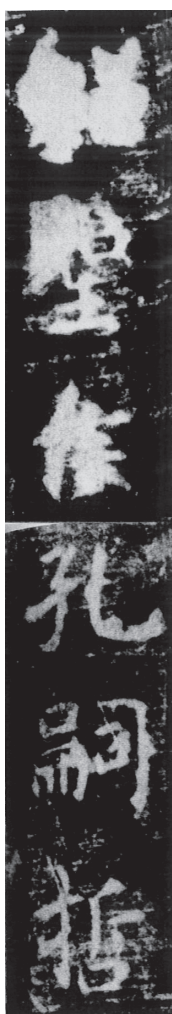
夏雲多
奇峰

準初段から師範まで

須田一葉臨

紹聖侯
孔嗣哲

紹
聖
侯
孔
嗣
哲



〔解説〕

〔出典〕 孔子廟堂碑（六二六～六三三）
〔筆者〕 虞世南（五五八～六三八）
〔読み〕 紹聖侯孔嗣の哲の（子）

紹聖
侯孔
嗣哲

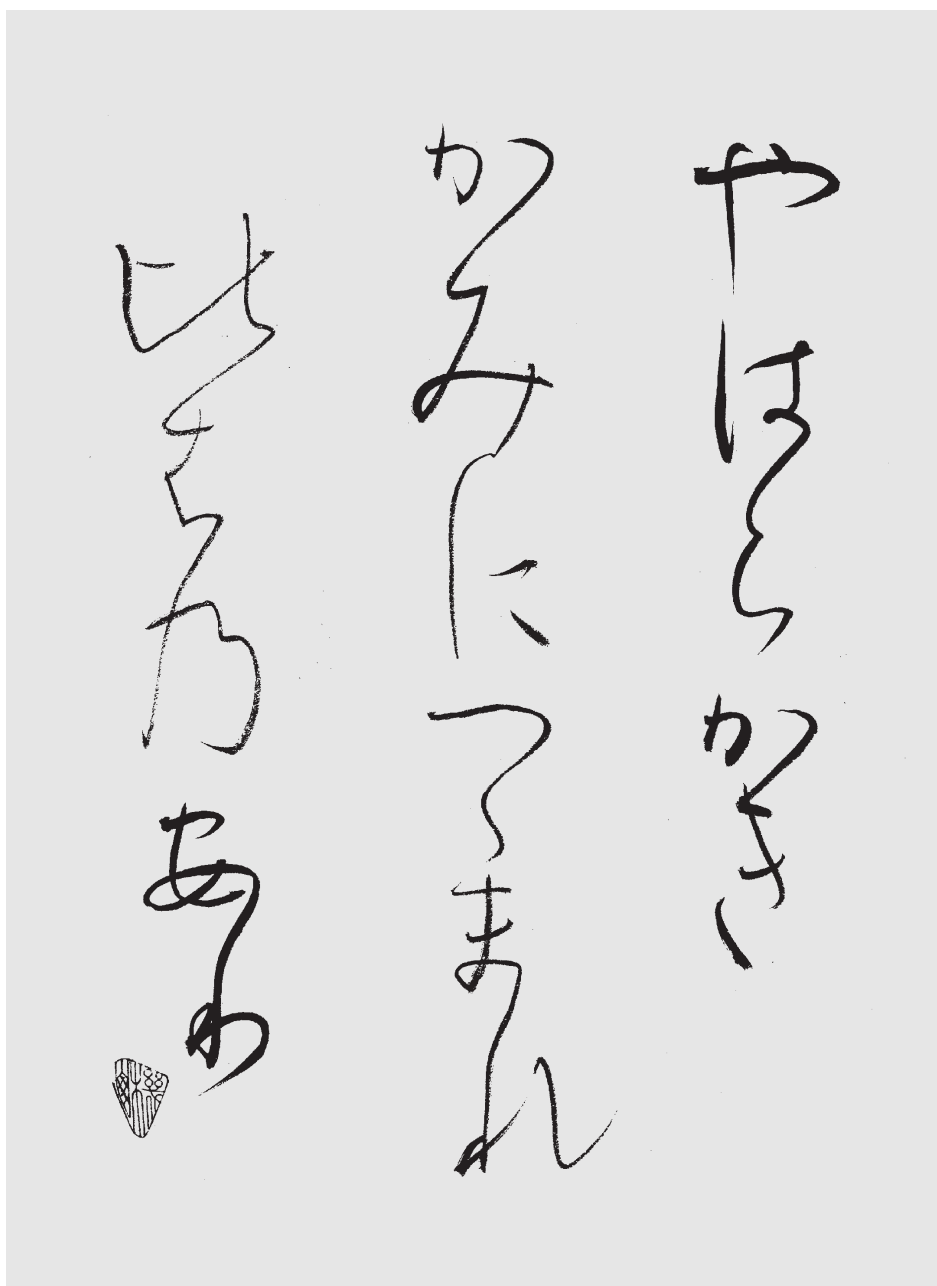
※文献によって字体が異なる場合があります。

◆8月課題予告

精微體
生感之

新入から1級まで

浅井機山先生書



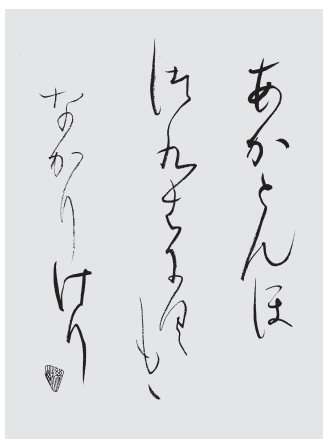
やはらかき紙につつまれ枇杷のあり
比者乃安利
篠原梵

〔句意〕 枇杷の実が傷まぬように、白い柔らかな紙に包まれている。薄紙を透して枇杷の実の黄色がみられるのである。やわらかなリズム、美しい句。

〔古筆参考〕

比	者	乃	安
比	者	乃	安
比	者	乃	安
比	者	乃	安

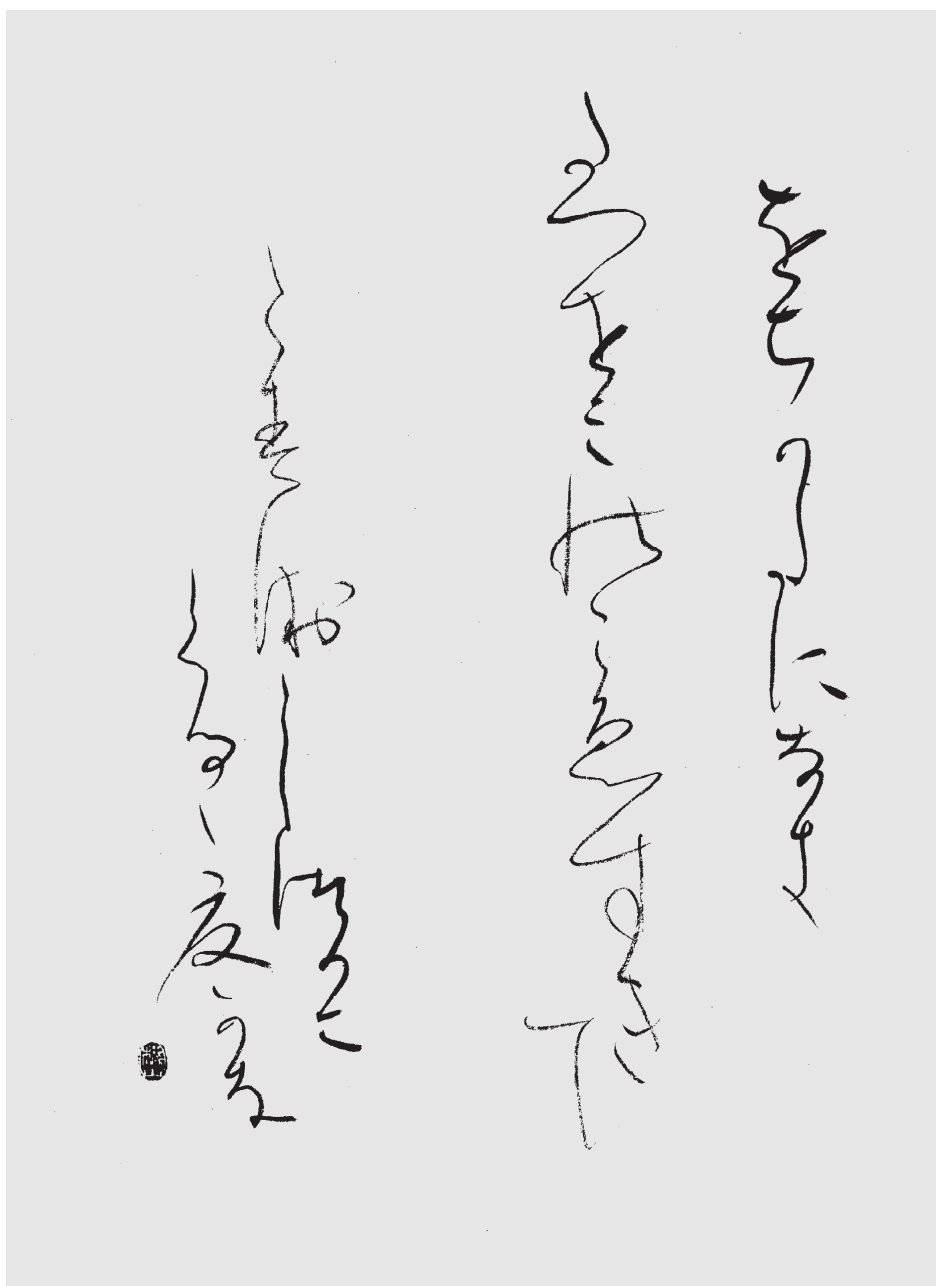
◆8月課題予告



赤とんぼ筑波に雲もなかりけり

準初段から師範まで

浅井機山先生書



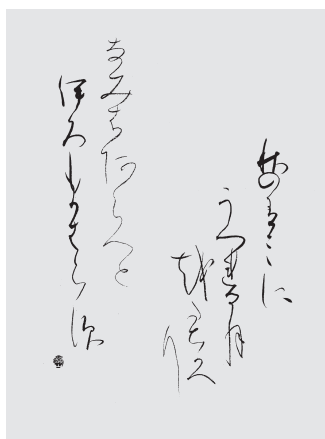
をち可多
遠方に鳴き立つ蟬の声過ぎて
こ春衛し徒可二久、
梢静かに暮るる夏かな
可奈
しよてつ
正徹

〔歌意〕 遠くの方で、いっせいに鳴きたてていた蟬
の声もいつか聞こえなくなり、木々の梢も
静かになって、静かに暮れていく夏である
ことだ。

〔古筆参考〕

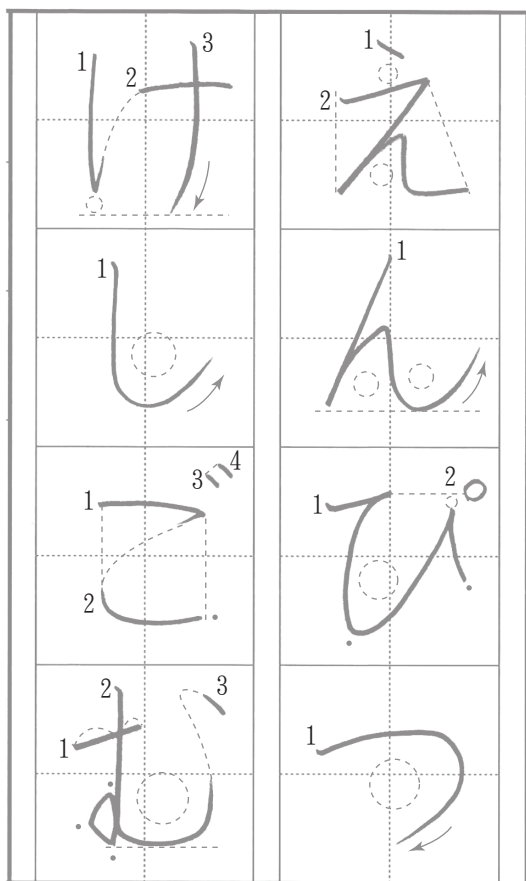
可か り り り
多た 多 り り
奈な 奈 り り
能の 能 り り
春す 春 り り
衛え 衛 り り

◆8月課題予告



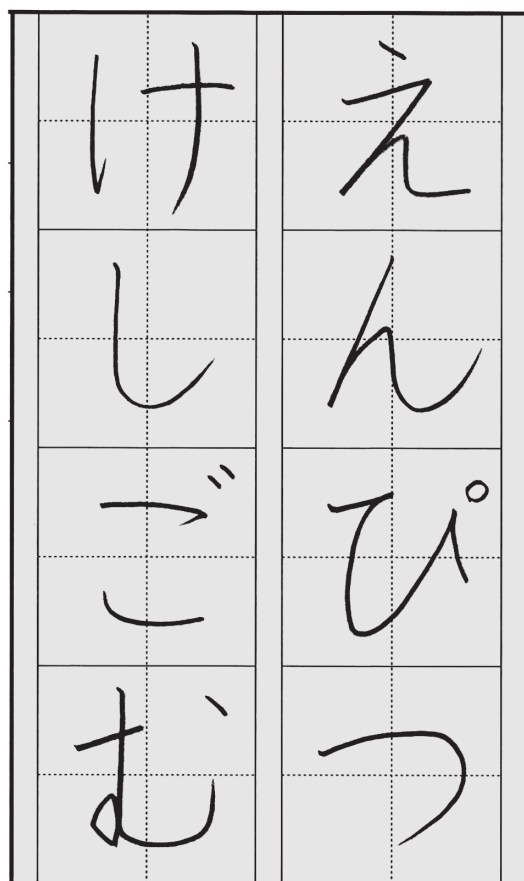
秋の海にうつれる月を立ちかへり
波は洗へど色も変らず

〈ようぐ〉自由(黒色にかきこむ)



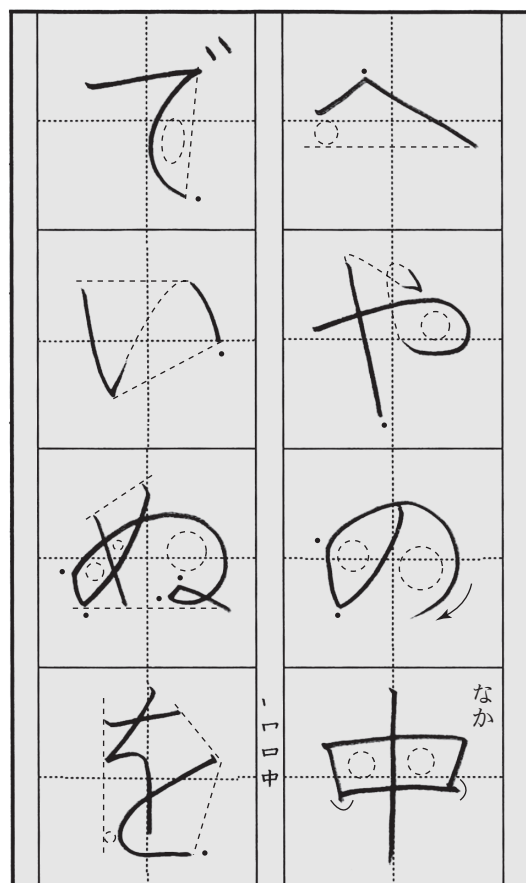
◆ひらがなトレーニング(なぞってかいてみよう)

★新入は、年少・年中・年長の別を記入して下さい。
★幼年は、全員8マス用紙で出書して下さい。



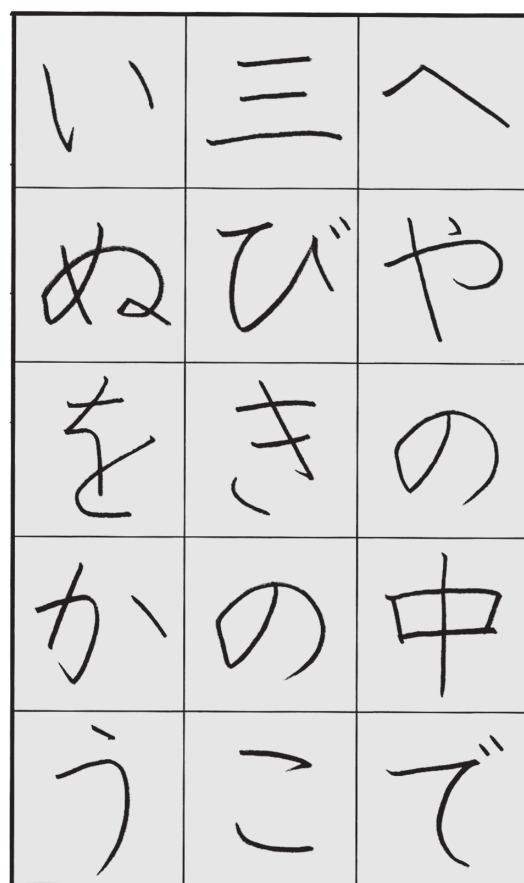
よ
う
年

幼年～小三年まで
三宅容玉書



新入～1級

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。



小
一
年

準初段以上

〈ようぐ〉自由(黒色にかきこむ)

か	書	ね
く	が	
七	い	
タ	を	

新入1級

※七タ単語としてこのように読みます。

く	ね	た
七	が	ん
タ	い	ざ
の	を	く
夜	書	に

小二年

準初段以上

か	雨
ら	戸
守	で
る	風

新入1級

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

ラ	か	雨
ス	ら	戸
を	ま	で
守	ど	強
る	ガ	風

小三年

準初段以上

小四年

用	ル	太
す	ギ	陽
る	一	熱
実	を	工
験	利	ネ

準初段以上

新入〜1級

リ 一ナ大太	タイ 太
ヨウ 門陽陽陽	ヨウ 陽
ねっ 熱熱熱熱	熱
を	を

〈用具〉自由(黒色に限る)

小五年

間	止	ゲ
が	で	一
増	勉	ム
え	強	の
た	時	禁

(全員)

小五以上は、全員15マス用紙で出書して下さい。

解説(よく見て習いましょう)

ジ 時時時時	キン 林林林林
カン 間間間間	シ 止止止止
ふ(える) 増増増増	ベン 勉勉勉勉
	キョウ 強強強強

小四年以上
前 堀 玉 華 書

うかががが族

ソク

族

うつく(しい)

美

カン

館

せ

北

み(る)

魚

スイ

水

自由(黒色に限る)

解説(よく見て習いましょう)

族

れ

美

館

の

し

で

魚

い

見

を

背

た

水

び

小六年

(全員)

中二・三年

(行書)

劑

配

環

を

慮

境

選

し

問

ん

た

題

だ

洗

に

中一年

(行書)

計

人

周

算

口

辺

し

密

地

ま

度

域

す

を

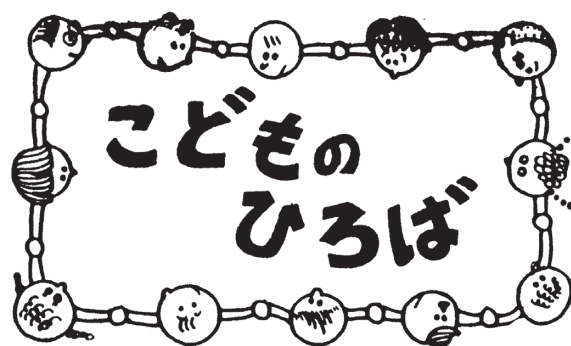
の

▼小三年以下の課題 いし かわ か すい 書
石 川 加 翠

あ	一 ^{いち}	お	一 ^{いち}	夏 ^{なつ}
る	番 ^{ばん}	り	番 ^{ばん}	の
の	と	ひ	明 ^{あか}	大 ^{だい}
が	が	め	る	三 ^{さん}
ひ	っ	ぼ	い	角 ^{かく}
こ	た	し	星 ^{ほし}	
ぼ	所 ^{ところ}		が	
し	に			



◎お手本はえんぴつ使用



しめきり 7月23日(必着)

習っていない漢字は
ひらがなで書いてもよい。

▼小四年以上の課題 さ とう ほう せん 書
佐 藤 芳 泉

暑 ^{あつ}	な	帽 ^{ぼう}	通 ^{つう}	熱 ^{ねつ}
さ	ど	子 ^し	気 ^き	中 ^{ちゅう}
を	エ ^く	を	性 ^{せい}	症 ^{しょう}
回 ^{かい}	夫 ^{ふう}	着 ^{ちやく}	の	予 ^よ
避 ^ひ	し	用 ^{よう}	あ	防 ^{ぼう}
し		す	る	に
ま				
す			衣 ^い	
			類 ^{るい}	



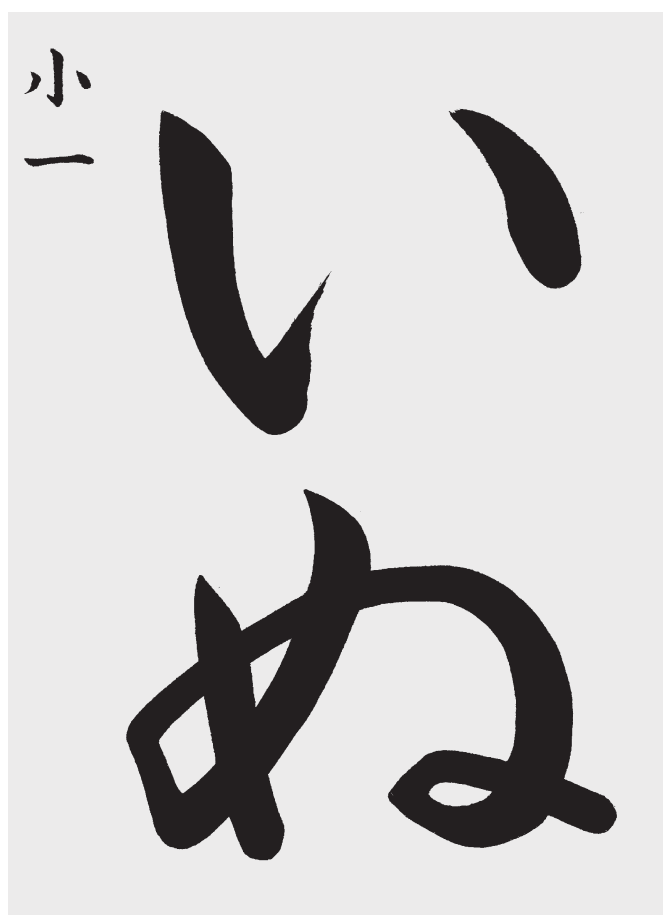
◎お手本はつけペン使用

◇作品の出し方

- 一、選定用紙(五行・四行)に書いて下さい。
- 一、作品には、支部名(校名)学年、氏名を書き入れて下さい。
- 一、筆記用具は自由です。(黒色に限る)
- 一、四行用紙を使用してもよい。その場合は、文章を適当に短くして下さい。
- 一、成績は評価により毎月変わります。
- 一、支部会員は、出品ラベルを必ず貼って下さい。貼っていない方は新入とみなします。



幼年〜小二年
酒井智仔書





小三・小五年
水野碧友書

中三

問環

題境

館水

小六

族

小六／中二・三年

永谷恵子書

度

族

環

館

境

密

中人

密度